

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		旧東京北部小包集中局跡地活用検討					所管	企画財政部	
								企画課	
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	216	計画事業名	旧東京北部小包集中局跡地活用検討		事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標]							
		[小 柱]						[事業開始] 平成 2 0 年度	
		[施 策]						[終了予定] - 年度	
	根拠法令等	要綱		〔法令等名〕		旧東京北部小包集中局跡地検討プロジェクトチーム設置要綱			
	事業対象	旧東京北部小包集中局							
	事業目的	区が用地取得した旧東京北部小包集中局は、北部地域のみならず、区の全体的なまちづくりにおいても貴重な大規模用地であるため、活用方法について検討を進める。							
	事業内容	旧東京北部小包集中局を活用し、北部地域のみならず、区全体の活性化を図るため、様々な観点から、本格的な活用に向けた検討を進める。							
委託の有無	なし	委託内容							
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)			目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	活用				-	基礎調査	発電施設整備検討	先進事例調査
	成果指標								
	決算額 (単位：千円)					1,554	294	86	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)				18,002	12,495	10,226	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				1,554	294	86	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				0	0	0	
		総経費				19,556	12,789	10,312	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				0	0	0	
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0	
一般財源 (区負担額)				19,556	12,789	10,312			
前年度から改善した事項		過去の基礎調査結果を踏まえながら、新たな手法として民間事業者からの活用提案について、先進事例の調査を実施した。							
評価の視点		評価	評価の理由						
	必要性	3	当該用地は貴重な大規模用地であり、活用にあたっては、まちづくりの観点や地域活性化等、様々な検討が必要であるため行政の関与が必須である。						
	効率性	3	経費を最小限に抑えながら、先進事例の調査を実施し今後の活用検討に生かすことにより効率化を図っている。						
	手段の適切性	3	過去の基礎調査結果等も踏まえながら、民間事業者からのアイデアも含め幅広い可能性を視野に適切に活用検討を行っている。						
	目的達成度	3	本格活用の実現に至っていないが、検討材料となる民間事業者からのアイデアを募る手法等を導入して、引き続き検討を行う。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
旧東京北部小包集中局の本格活用に向け、民間事業者から活用に向けた提案募集を実施し、その結果や地域の要望等を踏まえながら検討していく必要がある。							維持		